

専門人形劇演技者育成講座

人形劇団ひとみ座第一スタジオ (東急東横線「元住吉」駅西口より徒歩20分)

全人協は2024年度も全国で講座を開催します！ その中から人形劇団ひとみ座第一スタジオでの講座をご紹介します！受講無料です。プログラムは、人形劇のプロ演技者を対象としていますが、演技者ではない方、アマチュアで活動をされている方なども、ご参加いただけます。シンポジウム「人形劇が子どもたちのために出来ること」はオンラインでの参加が可能です。お申し込みの際は、件名を『全人協講座申込』としていただき、本文に「参加希望の日程・お名前・ご住所・電話番号・年齢・人形劇の経験年数・(あれば)所属先」をご記載ください。

お申し込み・お問い合わせ／人形劇団ひとみ座(担当/石川) E-mail t.ishikawa@hitomiza.jp

「影響を与え合う俳優たち ~その場で生まれる台詞術~」

講師 / ナガノコキノ (ミュージカルの脚本、演出、俳優)

1955年東京生まれ。ニューヨークのリーストラスバーグインスティテュートで、演技、演出を学ぶ。ビデオジャーナリストとして環境問題にも取り組む。

内容 「聴く力、リアクションの力を育む」
繰り返し演じる中で、常に新鮮に自由にリアクションをしていくにはやわらかい心と体の状態が大切です。身体をほぐしながら耳を生き生きと働かせる楽しいレッスンをします。

日時 2025年 1月10日(金)・17日(金)
18:00~20:00 (17:45開場)

※2回通しでのご参加を推奨しますが、いずれか1回のみでの参加も可能です。

持ち物 動きやすい服装、シューズ。
初日には、自己紹介につながる手のひらにのるサイズのお気に入りのグッズをお持ちください。
(ペン、ハンカチなど)



シンポジウム「人形劇が子どもたちのために出来ること」

オンラインでも参加可能!

講師 / 森本真世子 (NPO法人子どもと文化全国フォーラム代表理事)

東京都青梅市在住。
東京学芸大学幼稚園教員養成課程卒業後、「子どもが地域で育つ場づくり」に興味を持ち、地域の文化団体多摩こども劇場に就職。以来、西多摩地域、東京都、全国と、関係団体の役員を歴任。
子ども文化地域コーディネーターを提唱し、「子ども文化地域コーディネーター協会」を設立。
“すべての子どもたちに文化権の保障を！”を願い、様々な活動を展開中。

講師 / 川崎茜 (子どもと舞台芸術大博覧会プロデューサー)

東京都青梅市在住。文京学院大学人間学部共生社会学科卒。
大学生のとき、おうち若者カフェを設立し高齢者モデルと若者スタイリストが交流する「ババコン」を企画運営。
子どもと舞台芸術大博覧会にボランティアスタッフとして関わり、現在プロデューサーとして2025年茅野開催に向けて奮闘中。他、2021年にきものリサイクル青梅合同会社を設立。人が豊かに生活できる文化的な活動を届け続けている。

内容 私たちは、何のために人形劇を続けているのでしょうか。
最初に人形劇の世界に足を踏み入れたきっかけは、本当に人それぞれだと思います。多くの人形劇演技者が観客席にいる子どもたちに向けて演じる日々を過ごしていると思いますが、最初は「子どもたちに向けて」を全く意識せずに人形劇を始めた方も少なくないでしょう。それでも、全国の会場で人形劇を通して子どもたちと生の触れ合いを繰り返す中で、私たちが人形劇を続ける意味を少しずつ自分で作り上げているのだと思います。
私たちは、地域で子どもたちのために活動している個人や団体に温かく迎え入れられて、上演する機会を得ています。地域で活動する方々が、なぜ子どもたちに人形劇を届けたいと願っているのでしょうか。そこにこそ、私たちが人形劇を続けることの意味が隠されているはずです。
今回は地域の活動をさらに全国に連携させていくことで、「すべての子どもたちに文化活動へのアクセスを保障する」という壮大な使命に立ち向かっている講師お二人をお呼びします。過去の活動紹介から未来の活動展望へ、そしてお二人が活動を続ける原動力について、様々なお話を伺いながら、私たちが人形劇を続ける意味を少しずつでもアップデートしていきましょう。

日時 2025年 2月5日(水) 18:00~20:00 (17:45開場) ※オンライン参加をご希望の際は、後日URLをお送りします。
詳しい参加方法はURL送付時に合わせてご案内します。

